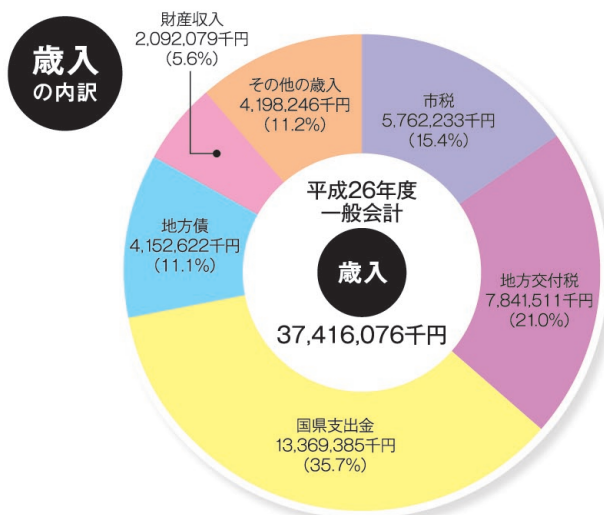
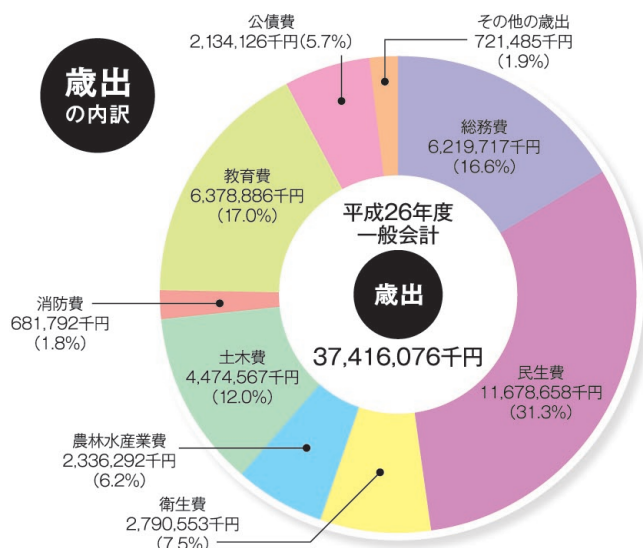


平成26年度 一般会計当初予算

当初予算額 37,416,076千円

(対前年度比14.1%増、4,632,632千円増)

小中学校施設耐震化事業や臨時福祉給付金給付事業、子育て世帯臨時福祉給付金給付事業の創設などにより前年度と比べて46億円増額となりました。



歳出(支出)

・総務費	6,219,717千円
・民生費	11,678,658千円
・衛生費	2,790,553千円
・農林水産業費	2,336,292千円
・土木費	4,474,567千円
・消防費	681,792千円
・教育費	6,378,886千円
・公債費	2,134,126千円
・その他	721,485千円

歳入(収入)

・市税	5,762,233千円
・地方交付税	7,841,511千円
・国県支出金	13,369,385千円
・地方債	4,152,622千円
・財産収入	2,092,079千円
・繰入金	1,645,587千円
・その他	2,552,659千円

当初予算に計上された主な事業

●小中学校施設の耐震化事業

予算額 3,938,829千円

児童生徒の学校生活の安全確保のため、また、災害時の地域住民の避難所として、耐震性の高い校舎等への改築を引き続き行います。

●臨時福祉給付金給付事業

予算額 402,344千円

消費税率上げによる低所得者への生活の影響を鑑み、低所得者へ臨時的に給付金を支給します。

●認可外保育施設多子世帯負担軽減事業

予算額 22,748千円

認可外保育施設を利用している多子世帯について、2番目以降の子の保育料の負担軽減を実施します。

●堆肥センター機能高度化施設整備事業

予算額 391,860千円

高品質な堆肥の供給による循環型農業の推進と環境に配慮した営農環境の形成のため、新たに堆肥センターの機能高度化整備を実施します。

●観光情報発信事業

予算額 30,276千円

季節ごとの観光プロモーション映像の制作と配信などを実施し、“やんばる観光の拠点”として、名護市を積極的にPRしていきます。

歳出予算を別の視点でみると…

義務的経費

・人件費	4,712,603千円
・扶助費	9,175,248千円
・公債費	2,134,126千円

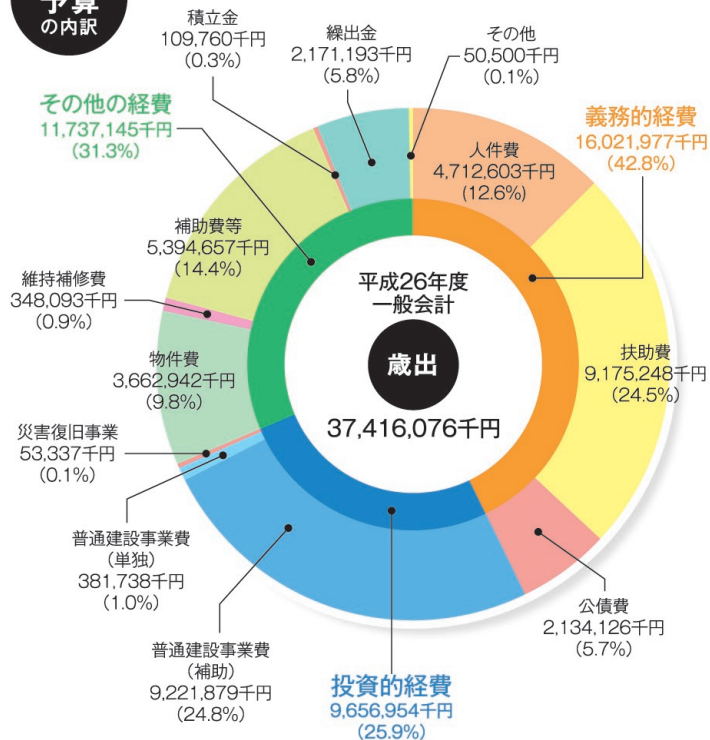
投資的経費

・普通建設事業	
補助事業費	9,221,879千円
単独事業費	381,738千円
・災害復旧事業費	53,337千円

その他の経費

・物件費	3,662,942千円
・維持補修費	348,093千円
・補助費等	5,394,657千円
・積立金	109,760千円
・繰出金	2,171,193千円
・その他	50,500千円

歳出 予算 の内訳



名護市の予算を1ヵ月の家計にたとえると… ※予算額100億円=家計10万円

収入

基本給(市税)	57,622円
諸手当(使用料、手数料等)	34,950円
親からの助成	223,606円
(国県支出金)	
(地方交付税)	
(交付金、譲与税等)	
貯金の取崩し(繰入金)	16,456円
銀行からの借入(地方債)	41,526円

月計 374,160円

支出

食費(人件費)	47,126円
医療費など(扶助費)	91,752円
家のローン返済(公債費)	21,341円
家の増改築など(投資的経費)	96,570円
光熱水費(物件費)	36,629円
住宅や家電の修理費(維持補修費)	3,481円
学費、各種会費等(補助費等)	53,946円
子どもへの仕送り(繰出金)	21,712円
その他	1,603円

月計 374,160円

特別会計 予算

国民健康保険特別会計	8,409,680千円
介護保険特別会計	4,199,921千円
公共下水道事業特別会計	1,385,309千円
後期高齢者医療特別会計	390,076千円
第三地区土地区画整理事業特別会計	213,924千円

水道事業 会計予算

	歳入	歳出
収益的収支	1,819,282千円	1,721,249千円
資本的収支	411,002千円	893,359千円